



# 株主通信

2023年11月

エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社  
(証券コード:8242)

## トップメッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2024年3月期第2四半期の連結業績は、百貨店事業の国内消費の堅調な推移と免税売上高の大幅な伸長、食品事業の価格転嫁の浸透による客単価の上昇と客数の回復により、連結売上高は318,543百万円（前年同期比104.6%）、総額売上高\*は505,189百万円（前年同期比109.5%）と増収となりました。

また、百貨店事業をはじめすべてのセグメントで増益となり、連結営業利益は9,897百万円（前年同期比888.4%）、連結経常利益は10,664百万円（前年同期比376.1%）といずれも第2四半期連結累計期間としては過去最高となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,294百万円（前年同期比225.6%）となりました。

\*収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高



代表取締役社長

あ ら き な お や  
荒木 直也

## 業績および期末配当予想の見直し

このように第2四半期の連結業績は、すべての各段階利益において期初予想を大きく上回ったことにより、通期の連結業績予想を、売上高6,800億円、営業利益220億円、経常利益225億円、親会社株主に帰属する当期純利益130億円へといずれも上方修正しました。

あわせて、配当予想につきましても、第2四半期の結果および通期の連結業績予想を踏まえ見直しを行い、期末配当において1株あたり3円の特別配当を実施し、普通配当12円50銭とあわせて、1株あたり15円50銭の期末配当を予定しております。

当期は、アフターコロナにより国内外において人流が戻り、百貨店をはじめ足元では個人消費が力強い回復を見せているとともに、これまで中期経営計画の重点施策として取り組んできた既存事業の再建・磨き上げや資本の効率化などの取り組みが奏功し、当期を最終年度とする中期経営計画の営業利益目標を大きく上回る見通しです。

今後も、このように計画数値や資本効率の改善に真摯に向き合っていくとともに、関西エリアに根ざした企業グループとして、株主さま、お客さま、地域社会、お取引先、従業員などステークホルダーの皆さまとともに、事業活動と地域の発展や豊かさに貢献するサステナビリティ活動を両輪で回していくことで、さらなる企業価値の向上を実現していきたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 各事業の概況

### 百貨店事業

売上高※  
**813億円**  
(前年同期比113.5%)

総額売上高※  
**2,591億円**  
(前年同期比117.5%)

営業利益  
**70億円**  
(前年同期比432.9%)

コロナ禍からの回復により入店客数が増加。堅調な国内消費に加え、免税売上高も大きく伸長。販管費は売上連動経費が増加するも、宣伝費等のコストコントロールにより、営業利益は大幅に増加。

### 食品事業

売上高※  
**2,033億円**  
(前年同期比102.5%)

総額売上高※  
**2,109億円**  
(前年同期比102.5%)

営業利益  
**41億円**  
(前年同期比250.9%)

食品スーパー各社は、価格転嫁の浸透による客単価上昇や客数の回復により、既存店売上高は前年を上回って推移。また、集客施策や商品開発、生産性向上の取り組み等が奏功し増益。

### 商業施設事業

売上高※  
**150億円**  
(前年同期比90.4%)

総額売上高※  
**158億円**  
(前年同期比90.3%)

営業利益  
**18億円**  
(前年同期比206.7%)

(株)エイチ・ツー・オー商業開発では、直営売場の縮小や店舗閉鎖の影響により減収。ビジネスホテルを運営する(株)大井開発は、宿泊需要の回復に伴い、客室稼働率が90%を超えて推移し増収増益。

### その他事業

売上高※  
**170億円**  
(前年同期比109.5%)

総額売上高※  
**193億円**  
(前年同期比109.0%)

営業利益  
**13億円**  
(前年同期比+29億円)

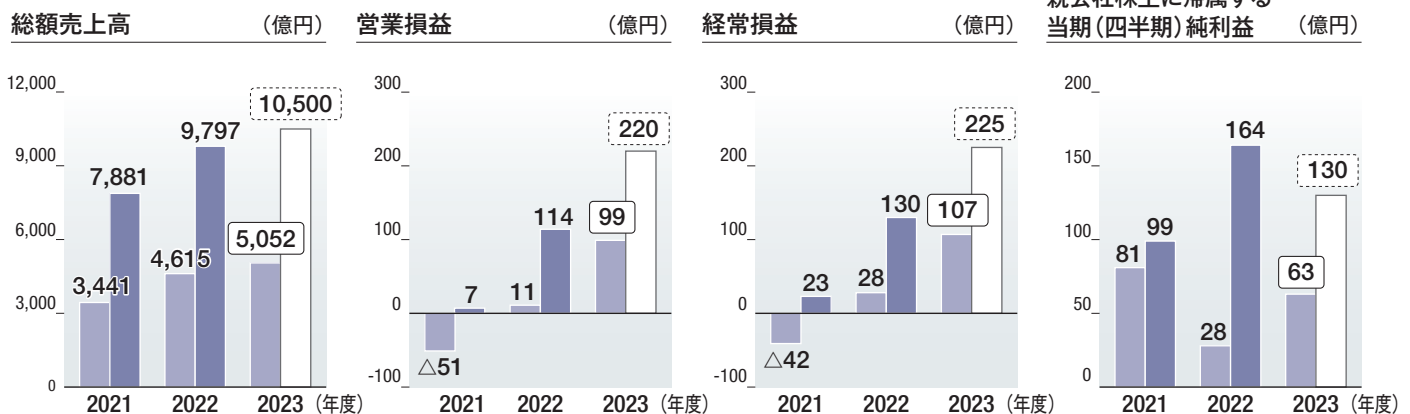
コロナ禍からの回復により専門店子会社が増収。持株会社である当社を除いたその他事業の子会社では、321百万円の増益となり、その他事業全体としても増益。

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、百貨店の消化仕入取引等は、仕入価格を控除した額(純額)のみ売上高に計上しています。なお、当該基準適用前の従来基準で算出した売上高を「総額売上高」として記載しています。

## 連結決算概要

	第2四半期累計期間	通期予想
売上高	<b>3,185億円</b> (前年同期比104.6%)	<b>6,800億円</b> (前年同期比108.3%)
総額売上高	<b>5,052億円</b> (前年同期比109.5%)	<b>10,500億円</b> (前年同期比107.2%)
営業利益	<b>99億円</b> (前年同期比888.4%)	<b>220億円</b> (前年同期比193.2%)
経常利益	<b>107億円</b> (前年同期比376.1%)	<b>225億円</b> (前年同期比173.0%)
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	<b>63億円</b> (前年同期比225.6%)	<b>130億円</b> (前年同期比79.4%)

■第2四半期 ■通期 (※2023年度通期は予想値)



## 「高槻阪急スクエア」グランドオープン ～約20年ぶりの全館リモデルがついに完成～

Takatsuki

HANKYU  
SQUARE

阪急阪神百貨店では、高槻阪急の約1年半にわたる大規模なリモデルを進めてきましたが、10月6日に「高槻阪急スクエア」としてグランドオープンしました。また、同時期に改装工事を行っていた神戸阪急は、10月11日に全館リニューアルオープンを迎えました。それぞれの地域のニーズにお応えし、地域の皆さまの暮らしに寄り添ったライフスタイルを提案します。



### ◆高槻暮らしを「おしゃれ」で「楽しく」「便利に」を提案するデパートメントモールへ

「高槻阪急スクエア」は、『高槻暮らしを「おしゃれ」で「楽しく」「便利に」を提案するデパートメントモール』をストアコンセプトに掲げ、地元のお客さまの暮らしに溶け込む、顧客支持No.1ストアを目指します。今回のリモデルでは、「子育てファミリーライフ」「今どき旬ファッション」「大人の楽しみ」の新しい3つのスタイルワールドが誕生。1階「子育てファミリーライフ」では、市民の木「けやき」から名付けられた「たかつきけやきパーク」を中央ゾーンに設置し、子どもたちが安心して遊べるクッション素材の遊具や絵本を楽しめるひろばを配置しました。また、ベビールームの新設やイベントの実施など、今後も高槻ママ・パパの子育てを応援していきます。



## ネットスーパー「阪急キッチンエール」の物流拠点移転

2023年6月、ネットスーパー「阪急キッチンエール」の物流拠点を、大阪・神戸・京都いずれにもアクセス良好な、兵庫県伊丹市に移転しました。面積は旧拠点の1.5倍に拡大し、需要が増えている冷凍・常温の品揃えを強化しています。また、人気のデパ地下商材に加え、イズミヤや阪急オアシスの店舗との連携により商品ラインアップを充実し、日常使いの「ネットスーパー」として、年間200万件のお届けを目標に地域に根ざした事業展開を進めています。



## イズミヤショッピングセンター神戸玉津 リニューアルオープン

エイチ・ツー・オー商業開発は、9月15日にイズミヤショッピングセンター神戸玉津をリニューアルオープンしました。エリア初出店のテナントなど新規テナントが新たに加わり、リニューアルしたフードコートでは、お子さま連れでもゆっくり食事をしていただけるキッズゾーンを新設しました。『「楽しい」「うれしい」「おいしい」ショッピングセンター』をコンセプトに、地域の皆さまの心豊かな毎日を支えます。



## 阪神タイガースご声援感謝セール 大盛況

阪神百貨店では、リーグ優勝および日本一を果たした阪神タイガースへのファンの皆さまの日頃のご声援に感謝を込めてそれぞれ開催した「ご声援感謝セール」では、多くのお客さまにご来店いただき、店内では「18年ぶり」や「38年ぶり」にちなんだ商品、記念ロゴ入りの商品や福袋が人気で、ファンの皆さまの歓喜で溢れていました。



©阪神タイガース



## サステナビリティ経営

### ◆阪急うめだ本店が大阪府のCO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証制度の第1号に認証

大阪府との包括連携協定(2021年締結)に基づいて進められている「大阪 森の循環促進プロジェクト」。サステナビリティ経営方針に掲げる重点テーマ『豊かな「地域の自然」を守り、引き継ぐ』ことを目的として、大阪産の間伐材の利用促進を行っています。2023年は、間伐材を利用した子ども向けイベントを開催し、よりお客さまに森の循環を「体感」していただける取り組みを行いました。また、阪急うめだ本店では、8階「GREEN AGE」を中心に、内装や什器の一部に間伐材を利用したことによる、CO<sub>2</sub>の木材固定効果が認められ、大阪府のCO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証制度の第1号に認証されました。今後も小売業として「知ってもらう」「使ってもらう」ためにできることを考え、取り組んでいきます。



認定書授与式を「GREEN AGE」で実施

「GREEN AGE」  
売場完成までのエピソードは  
こちらへ



### ◆グループ全体で子どもたちの未来を応援 約450の子ども向け体験プログラムを開催

当社グループでは、夏休み期間中に、百貨店や食品スーパーをはじめ千里中央公園(1000RE SCENES)など5社13店舗・施設で、地域の子どもの健やかな成長(未来)を応援する体験プログラムを実施しました。サステナビリティ経営方針に掲げる重点テーマ『地域の「子どもたち」を育む』の実現に向けて、子どもたちの学びや夢に繋がる場を作っていきます。



関西スーパーセルバ店  
「食育体験ツアー」



阪神梅田本店 洋菓子売場  
「子ども店長体験」



株主アンケート  
ご協力をお願い

いただきました貴重なご意見は、今後のIR活動などの参考にさせていただきます。なお、2022年のアンケート結果は、当社ホームページに掲載しております。多数のご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

[https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/ir/stock/survey\\_results.html](https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/ir/stock/survey_results.html)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金  
受領株主確定日 3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
※旧イズミヤ株式の特別口座の口座管理機関は三井住友信託銀行株式会社となります。

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
※三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL 0120-782-031 (通話料無料)

公告の方法 電子公告により行います。

公告掲載URL

<https://www.h2o-retailing.co.jp/koukoku>

(ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ご注意

- (1) 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(旧イズミヤ株式につきましては、三井住友信託銀行)が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行(旧イズミヤ株式につきましては三井住友信託銀行)の本支店でもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは、各口座管理機関を経由してお届けください。詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- (4) 未受領の配当金(旧イズミヤの株式に関する配当金を含む)につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。